

2022年度
事業計画書

自 2022年 4月 1日

至 2023年 3月 31日

日本フラッグフットボール選手権
公益社団法人日本アメリカンフットボール協会
公益財団法人日本フラッグフットボール協会

公益社団法人日本アメリカンフットボール協会と公益財団法人日本フラッグフットボール協会は、主催する日本フラッグフットボール選手権において、以下の事業を行うものとする。

1 : 各地区フラッグフットボール大会（スプリングカップ）

- INTERNATIONAL FLAG FOOTBALL RULES 2021 (<https://americanfootball.jp/flag/5714>)
で行う各地区フラッグフットボール大会(通称：スプリングカップ、spring cup)を2022年4月から各地区で開催する。
- 開催カテゴリーは男子、女子、中学生、中学生女子とする。参加にあたっては、選手単位で設定する参加費とチーム単位で設定する登録費が必要となる。
- 開催地区は以下の地区があり、原則地区ごとに各地区大会を行う。
 - 北海道地区（北海道）
 - 東北地区（青森、秋田、岩手、山形、宮城、福島）
 - 北関東地区（群馬、栃木、茨城）
 - 南関東地区（埼玉、千葉、東京、神奈川）
 - 甲信越地区（新潟、長野、山梨）
 - 北陸地区（富山、石川、福井）
 - 東海地区（愛知、岐阜、三重、静岡）
 - 関西地区（兵庫、京都、大阪、滋賀、奈良、和歌山）
 - 中四国地区（鳥取、岡山、島根、広島、山口、香川、徳島、愛媛、高知）
 - 九州地区（福岡、佐賀、長崎、大分、熊本、宮崎、鹿児島）
 - 沖縄地区（沖縄）
- 主管は JAFA フラッグフットボール委員会、運営統括は JAPAN フラッグフットボール実行委員会、運営は各地区 JAPAN フラッグフットボール実行委員会とする。

2 : 日本フラッグフットボール選手権大会（ジャパンフラッグフットボールチャンピオンシップ）

- INTERNATIONAL FLAG FOOTBALL RULES 2021 (<https://americanfootball.jp/flag/5714>)
で行う日本フラッグフットボール選手権大会（通称：ジャパンフラッグフットボールチャンピオンシップ、JAPAN FLAGFOOTBALL CHAMPIONSHIP）を2022年9月から各地区で開催する。各地区的代表チームは、全国大会に出場することができる。

- ・ 開催カテゴリーは男子、女子、中学生、中学生女子とする。参加にあたっては、選手単位で設定する参加費とチーム単位で設定する登録費が必要となる。
- ・ 地区大会の開催地区は以下の地区があり、原則地区ごとに各地区大会を行う。
 - ・ 北海道地区（北海道）
 - ・ 東北地区（青森、秋田、岩手、山形、宮城、福島）
 - ・ 北関東地区（群馬、栃木、茨城）
 - ・ 南関東地区（埼玉、千葉、東京、神奈川）
 - ・ 甲信越地区（新潟、長野、山梨）
 - ・ 北陸地区（富山、石川、福井）
 - ・ 東海地区（愛知、岐阜、三重、静岡）
 - ・ 関西地区（兵庫、京都、大阪、滋賀、奈良、和歌山）
 - ・ 中四国地区（鳥取、岡山、島根、広島、山口、香川、徳島、愛媛、高知）
 - ・ 九州地区（福岡、佐賀、長崎、大分、熊本、宮崎、鹿児島）
 - ・ 沖縄地区（沖縄）
- ・ 主管は JAFA フラッグフットボール委員会、運営統括は JAPAN フラッグフットボール実行委員会、運営は各地区 JAPAN フラッグフットボール実行委員会とする。

3 : ジュニアカップ

- ・ 中学生・中学女子カテゴリーに出場した各地区代表チーム（地区1位）、また開催地区チーム（地区2位）が出場する春季全国中学生（女子含む）大会を開催する。参加にあたっては、選手単位で設定する参加費が必要となる。大会は日本フラッグフットボール選手権実行委員会が主管し、開催各地区的 JAPAN フラッグフットボール実行委員会が運営を行う。

4 : 新型コロナウイルス感染症対策

- ・ 大会開催会場とその近隣地域に所在する自治体のガイドライン等を踏まえ、大会の実施を判断する。
- ・ 感染防止策については、「JAFA アメリカンフットボール活動再開に向けたガイドライン」等を参考にして、大会開催にあたって必要な方策をとるとともに、参加者に周知する。

5 : WEB サイトおよび SNS の運営

- ・ WEB サイトや SNS でフラッグフットボールの大会に関する最新情報やニュースの情報発信を行う。

以上